

コミュニティ・スクールの取組を進める3つの柱と8つの重点項目

宇部市では、令和4年度も、引き続き「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進をめざして、3つの柱と8つの重点項目を設定し、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきます。各学校・地域で具体的な戦術を熟議し、特色ある取組を進めていきます。

1 地域学校協働活動の推進

- (1) 地域学校協働活動の重要性を改めて認知し、十分なコロナ感染予防対策をとりながら、より多くの地域の皆さんが学校を訪れ、大人の学びと児童生徒との交流が進むようにする。
- (2) 各地区の地域学校協働活動推進員、社会教育推進委員会等との連携を深め、協働活動がよりスムーズに進むようにする。
- (3) 児童生徒の地域貢献意識の高揚を図るための地域の特色を生かした学習を学校・地域連携カリキュラムに明確に位置づけ、計画的に実施し、継続的に改善する。
- (4) 小中高連携を進め、児童生徒同士の交流・協働活動や地域活動への参加、学校運営協議会同士の連携等、より幅広い世代を巻き込んだ協働活動を活性化する。
- (5) 研修会への参加、情報交換、各種リーフレットの活用等により、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進の重要性を地域、家庭、学校のみんなが理解できるようにする。

2 学校運営協議会の一層の充実

- (1) 児童生徒が直接参加したり、児童生徒の意見を生かしたりするなど、児童生徒自身も当事者として参画する方法を工夫して学校課題の解決に向けた熟議を充実し、具体的な取組を進める。
- (2) 改選された協議会組織を活用して熟議の活性化を図るとともに、女性、若手など、より多様で持続可能な地域人材による組織改編が進むよう、継続的な人材育成・発掘に努める。



3 保護者・地域に届く情報発信の充実

- (1) 学校ホームページの充実による広範囲な情報発信とともに、コロナ感染予防に留意しながら授業参観や協働活動等、直接的な情報発信にも努め、コミュニティ・スクールの保護者・地域への浸透を図る。